

ておりました。

ツアーも大詰め、敷地内に広いバラ園を持つ山田町の結婚式場、コリーナさんに向かいました。バラのシーズンということもあり、バラを目当てに多くの方が来場していました。アーチや壁面への仕立てなど、とにかくスケールが大きいのにびっくり。広い敷地なので自由見学ということでしたが、バラ管理をされている佐藤さんが登場してからは自然とバラ講習会へ。土づくりや仕立て方をはじめ、冬場の管理や良い苗の選び方など、ためになる話をいただき、そのまま佐藤さんのご自宅へ向かいました。佐藤さんのお庭は住宅地でしたが、表札が不要なほど庭中バラでいっぱい。もはやバラ畑という感じがするほどのボリューム感にただただ圧倒されるばかりでした。

3回目となる今回のツアーは花も多かったため、とても充実した内容でした。3回を通じて、会員の皆さんはもちろんのこと、一般参加者の方々がルールやマナーにおいてとても高い意識を持っていたおかげでトラブルもなく、スムーズな進行ができましたこと、あらためて御礼申し上げたく思います。どうもありがとうございました。4月と5月は雨と寒さで大変でしたが、ツアー終了時に、3回とも参加していただいた方が入会されました。今回のツアーを実施して良かったと心底思います。ご参加いただいた皆さまをはじめ、お庭を公開いただいた皆さまに深く感謝いたします。どうもありがとうございました。

丁寧な説明を聞きながら園内をひと巡りしたあと、ウィンザーティールームでランチタイム。その後のフリータイムでは、思いおもいのお買い物をして時間いっぱい園内を楽しみました。

公開庭ご苦労さま・サクスツアー

去る6月15日にオープンガーデンいわき創立10周年を記念して素敵なお庭を公開されました公開庭、協力庭の皆さまと会長、事務局総勢18名のメンバーで「ご苦労さま・サクスツアー」を行いました。行き先は群馬県新田郡の「アンディ&ウィリアムスボタニックガーデン」。早朝いわきを出発して、到着するまでの長い道のりも沿道に咲き誇るさまざまな花たちがA&Wに続くウェルカムフラワーのようで、飽きることなく目を楽しませてくれ、あっという間に目的地に到着しました。

園内は伝統的英国式庭園からなる22のテーマガーデンと大きな池を巡るウッドガーデンがあり、園のスタッフガイドの方のユーモアあふれる親切

帰りのバストラックは隙間がない程見事な収納に運転手さんも苦笑い。様々な花苗や苗木をびっしり詰め込んで、楽しい思い出と共に無事帰宅の途に着きました(鈴木)



事務局からの

お知らせ

「谷重さんご夫妻が八王子へ移転されました」

当会生え抜きのメンバーでいらしゃった谷重勉さん・実余さんご夫妻が、長年住みなれた遠野のお宅に別れを告げ、この6月に八王子市の新居へ転出されました。谷重さん、本当に長年お疲れ様でした。そして会員一同大変お世話になりました。ペンション「メゾン・ド・モンパール」経営の傍ら、当会発足当時からずっと副会長としてご尽力されただけでなく、畑作りからゴルフまで多方面のお世話を一手に引き受け、皆様に慕われ、頼られる素晴らしいご夫妻でした。遠くに行かれるのはとても残念ですが、今後の更なるご活躍とご健康をお祈りしたいと思います。最後に、ミモザのお庭を継いだ新しい庭主さんがオープンガーデンをしてくださることを密かに期待しております。(加原)

「2008年版オープンガーデンガイドブックの販売状況について」

今年4月に発行された「2008年版オープンガーデンいわきガーデンガイドブック」のその後をご報告したいと思います。当会結成十周年記念刊行物として、初めて一般向けに販売されたものですが、一般公開バスツアーの中でも皆様にご好評をいただきました。その後、会長宅での春のオープンガーデンを通じてたくさんのお見学者にご購入いただいたり、マスメディアへの掲載で広く存在を知っていただくことができ、直接事務局に見えて購入していく方が増えております。一般の方にこれほど高い関心を持っていただいたことは評価に値する一歩と言えるでしょう。県内だけでなく関東地方、宮城県の方にもご購入いただきましたので、庭主の皆様のお宅に見学依頼のお電話が今後増えることが予想されます。ご都合のつく場合は見ていただくことに喜びを持って公開させていただきますよう、どうぞ宜しくお願い致します。ガイドブックを知人友人にプレゼントしたい、とか、買って欲しいと頼まれた場合は事務局加原(電話0246-44-1427)までご連絡をお待ちしています。(加原)



オープンガーデンいわき発足から10年を受け、記念行事として一般参加を募ってのオープンガーデンツアーを実施しました。記念ツアーということで4月～6月まで毎月1日実施することとし、それぞれ季節にあったテーマの庭を巡ることになりました。

4月ツアー「早春篇」

34人の参加者を乗せたバス2台が向かったのは遠野のモンパールさん。例年に比べ、ミモザの開花が遅れていたようで、ツアー当日はたっぷりの黄色で迎えてくれました。ミモザもさながら、石垣に咲くユキヤナギも見事。巨石と植物のバランスが絶妙です。道路向かいの山には遊歩道が造られており、その散策も楽しかったです。

次に訪れたのは同じく遠野地区の永瀬さん宅。春はパンジーでいっぱい聞いておりましたが、その通りでした。敷地に一步踏み入ると辺りはまばゆいばかりに色鮮やかなパンジーたち。毎年種から育てているそうです。花がら詰めは大変とおっしゃっていましたが、春らしい素敵な景色を見せていただきました。

3軒目にお伺いしたのは、まるで植物園かと思うような珍しい植物たちでいっぱいの葉田野さんのお庭。バラのシーズンは圧倒されるような植物群が見事なのですが、今の季節は若干すっきりしていたため、また新たな草木の発見がありとても新鮮でした。

引き続き花遊庭さんへ移動し、昼食の時間を取りました。お庭はシデコブシや土佐ミズキ、日向ミズキなどの花木が淡い彩りを添えてとても春らしい光景でした。昨年未から取りかかっていた池のリニューアルもすっかり終わり、水辺の周りには新しい風景が広がっています。

昼食後、鹿島の中村さんのお庭へ向かいました。チュ

ーリップなどの球根類のほか、色とりどりの花壇花で庭内はいっぱい。エッグアートにも力を入れている庭主さんは、家の一室をエッグアートギャラリーに改装していて、作品の数々も拝見させていただきました。昨年思い切った剪定したというミモザが実に見事。ハナミズキも今年は花付きがいいようです。

次にお伺いしたのは平の良善寺さん。広い境内に大きく広げた枝に咲くのはしだれ桜や山桜。お庭を巡ると、お寺とは思えないほど多種の植物たち。山野草の数々はもちろんのこと、バラ園まで。見下ろす松ヶ岡公園の桜も借景に、春らしいひとときを過ごすことが出来ました。

良善寺さんを巡っているうちに降り出した雨は、残念ながら本格的な雨天となってしまいました。最後にお伺いしたのは絹谷の沖田さんのお庭。いわきに引越して来られ、庭造りをはじめ1年ほど。とにかく広い敷地なので庭仕事も一仕事のところ、会員の鈴木百合子さんの強力なバックアップをいただき、畑だった敷地が見違えるほどの様子を見せていました。

春の陽気はどこへやら、とても寒い日、さらに午後からは雨が降りしきるという悪天候でしたが、その寒さを吹き飛ばすかのような情熱を感じる1日でした。冬の寒さが厳しかったため花木の花付きもよく、特にミモザとハナミズキは見応えがありました。この時期、木々はまだ葉を出す前なので、庭の見通しが良く、色鮮やかな花々が特に目立ちました。

